

# 北関東防衛局広報

令和3年6月(第107号)

編集・企画発行 | 北関東防衛局総務部広報室  
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1  
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



「写真提供：国営ひたち海浜公園」(茨城県ひたちなか市)

## 目次

## CONTENTS

- 2 東日本大震災10周年記念式典
- 3 硫黄島での空母艦載機着陸訓練
- 4 わが町紹介(～栃木県宇都宮市～)
- 5 防衛施設周辺の環境整備事業
- 6 事務所だより(～百里防衛事務所～)
- 7 令和3年4月1日付幹部紹介  
令和3年度北関東防衛局初任研修を実施
- 8 北関東防衛局からのお知らせとお願い
  - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
  - ・ドローン規制についてのお知らせ
  - ・在日米軍従業員募集

## 東日本大震災10周年記念式典

令和3年3月11日、横田基地において、「東日本大震災及びトモダチ作戦10周年式典」が開催され、当局からは松田北関東防衛局長が出席し、犠牲となられた方々に哀悼の意を表しました。

平成23年3月11日、宮城県三陸沖を震源とするマグニチュード9.0という我が国における観測史上最大の地震に伴い、津波や原子力災害など未曾有の大災害が発生しました。

防衛省・自衛隊は当時、自治体をはじめとする関係機関と協力するとともに、「トモダチ作戦」による米軍2万人規模の協力を得て、史上最大規模の態勢で対処に当たりました。

その中でも横田基地は、「トモダチ作戦」の中で、東北地方の被災地へ向けた支援物資等を空輸する後方支援基地としての役割を果たすだけでなく、原発事故に対処するための機材輸送など、首都圏における重要な米軍施設としての能力・機能をいかんなく発揮しました。

式典の中で第374空輸航空団司令官のキャンベル大佐は、「チーム横田のメンバーは、大切な同盟国の人々を支援するため迅速に行動した。成田空港へ着陸できなかったダイバート機とその乗客への支援をはじめ、消防車両の派遣や航空機による被災地への物資輸送など、東北全体を支援した。今日、犠牲となられた方々を偲んで悲しみを分かち合い、震災後に我々が友人として、また同志として、ともに対応した事実を誇りをもって称え合いたい。」と述べました。

松田局長は、「当局は、震災時の横田基地のこのような活動について、周辺自治体や地域住民の皆様にごできる限りの情報提供を行うなど一丸となって対応した。東日本大震災においては、私を含む多くの日本国民が、「トモダチ作戦」を通じ、同盟国である米国の力強く、温かい支援に深く感謝している。」と述べました。

式典の最後に、日米の代表者が花輪を捧げ、両国の継続的な同盟関係を象徴する梅の木を植樹しました。

北関東防衛局としては、今後も災害の発生に備えつつ、横田基地周辺自治体をはじめとする関係機関や米軍との相互の連携・協力の基盤となるよう努めてまいります。



(横田基地ホームページより引用)



## 硫黄島での空母艦載機着陸訓練

訓練期間中約3,090回の着陸訓練が実施されました。



着陸訓練を行う空母艦載機

原子力空母ロナルド・レーガンの艦載機による57回目の空母艦載機着陸訓練(FCLP:Field Carrier Landing Practice)が、令和3年5月5日から同月15日までの間、硫黄島で実施されました。

訓練には、原子力空母ロナルド・レーガンの艦載機(F A-18 E、F A-18 F、E A-18 G、E-2 D、C-2 A)が参加し、期間中に約3,090回の着陸訓練が行われました。

北関東防衛局では、訓練が円滑に遂行されるよう、企画部次長を始め職員15人を硫黄島に派遣し、器材の使用及び支援物資の輸送に係る米海軍、海上自衛隊及び航空自衛隊との間の連絡調整や、給食、施設の管理に係る役務の調達等の支援業務を昼夜を問わず行いました。

訓練の実施に当たっては、硫黄島の自衛隊基地を管理する海上自衛隊及び航空自衛隊の協力もあり、当初予定していた訓練期間内に安全に全ての訓練を硫黄島で終えることができました。

北関東防衛局では、本土の飛行場周辺での航空機騒音軽減などを図るため、米軍にはできる限り、本土ではなく硫黄島において訓練を行うよう、累次の機会に要請しています。

今後とも、訓練の実施に当たっては、日米間の調整を密に行い、恒久的なFCLP施設が整備されるまでの間、暫定的な代替施設である硫黄島において多くの訓練が実施され、本土の飛行場周辺における航空機騒音の軽減が図られるよう努めてまいります。



日米間での会議の様子

### 空母艦載機着陸訓練とは

空母艦載機が海上で空母に安全に着艦できるよう、パイロットの練度の維持・向上を目的として、陸上の飛行場の滑走路で行われる着陸訓練で、米海軍の艦載機のパイロットにとって必要不可欠な訓練です。

# わが町紹介

# ～栃木県宇都宮市～

## 夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』

宇都宮市は、東京から北に約100キロメートル、栃木県のほぼ中央に位置し東北新幹線や東北自動車道、北関東自動車道などの交通網の結節点であり、古くから門前町、宿場町城下町として栄え、栃木県の政治・経済の中心都市として発展してきました。

これからも成長し続けるために、全国に誇れる魅力あるまちづくりに取り組んでおり、子育てにやさしいまち、自転車のまち、餃子を愛するまち、カクテルのまち、プロスポーツのまち、大谷石のまち、農業王国うつのみやなどを掲げ、様々な事業を実施しています。

### 『スーパースマートシティ』とは・・・

本市が目指す将来の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」のもと、子育て、福祉、安全、経済、交通などのあらゆる分野に

- ①先進技術をいち早く導入し、市民生活の向上等を図る『スマートシティ』
- ②地域における絆を深め、ともに支え合い、安心して暮らせる『地域共生』
- ③環境などとの調和を図りながら、持続的な発展を目指す『SDGs』の視点を取り入れた

「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち」です。



## 防衛施設周辺対策事業

宇都宮市には宇都宮飛行場等が所在しており、地域との調和を図るため、防衛施設周辺対策事業の助成制度を活用し、様々な施設整備等を実施しています。近年では、保育所等の周囲半径500メートルを「キッズゾーン」として設定するとともに、ゾーン内における交通安全対策のための路面標示を設置し、自動車の運転者等への注意喚起を図るなど、園外活動時の児童の安全確保に取り組んでいます。





# 防衛施設周辺の環境整備事業

## 高崎市 吉井中央公園オープン記念式典が開催されました



北関東防衛局長 高崎市長

テープカット及びくす玉開披



式辞の場面：高崎市長



祝辞の場面：北関東防衛局長

令和3年4月4日、群馬県高崎市主催で「吉井中央公園オープン記念式典」が開催され、富岡高崎市長を始めとした関係者のほか、当局からは松田北関東防衛局長が出席し、地元市民の多くの皆様と共に吉井中央公園の完成をお祝いしました。

本公園は、有事の際には避難活動や消防活動のための防災拠点として、平時には市民の憩いの場としての活用が期待されており、地元市民の皆様の生活の向上に資するよう整備されたものです。

本施設の整備にあたっては、高崎市に陸上自衛隊関東補給処吉井弾薬支処をはじめ、新町駐屯地や相馬原演習場が所在しており、弾薬輸送やヘリコプターによる飛行訓練等が実施されるなど、防衛施設の運用により市民の生活に影響を及ぼしていることに鑑み、これら防衛施設と周辺地域との調和を図るため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条の規定に基づき整備費の一部(約6億15百万円)を助成しています。

当局といたしましては、今後も防衛施設を安定的に運用するためには地元住民の方々のご理解とご協力が不可欠であるものと考え、皆様方の生活の安定と福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。

**【施設の概要】**  
 補助対象事業費：約10億53百万円  
 住 所：高崎市吉井町下長根50番地1(面積 約4.4ha)  
 防 災 機 能：防災あずま屋、かまどベンチ、シェルター  
 遊 具 施 設：ネット遊具、複合遊具、周回式滑走遊具 等

ネット遊具

複合遊具

周回式滑走遊具



事務所だより

～百里防衛事務所～

ひたち海浜公園

～公園設立に至るまでの歴史～

茨城県ひたちなか市に所在している「国営ひたち海浜公園」は、さまざまな観光案内カタログや、テレビ番組等で絶景スポットとして紹介されている有名な公園となっています。首都圏からJR常磐線、路線バスを經由し、およそ1時間40分と比較的近場にあり、気軽に足を運べるという利点もあります。

今年が開園30周年を記念する年ということもあり、なおのこと話題に上がる機会が増えてきているように感じます。現在、公園の面積はおよそ215haとなっており、今後も整備がなされていくと最終的に350ha(東京ドームおよそ74個分)となる計画です。園内は花々の咲き誇る「みはらしの丘」がある「みはらしエリア」や

木々に包まれた「樹林エリア」等の計7つのエリアによって構成されており、エリア内には観覧車等のレジャー施設やサイクリングコース、遊歩道も整備されており、観光や散策のみならず、運動を目的として公園を訪れる方々も少なくありません。そして春先に開花するネモフィラやバラをはじめとし、秋のコキアや冬のアイスチューリップといった四季に応じた色とりどりの光景を堪能出来るこの公園は、老若男女を問わず全ての世代の方々が思い思いの一時を過ごせる素晴らしい場所と言えるでしょう。

最近では国内外を問わず多くの方々が注目し、足を運んでいるこの公園ですが、元々この場所は今のような公園として利用されていた場所ではありませんでした。今回は「国営ひたち海浜公園」が開園されるまでの出来事を簡単に紹介させていただきます。

時は今から80年ほど前に遡ります。当時この地には、旧陸軍が飛行場として使用する為の「水戸陸軍飛行学校」という施設がありました。その後、終戦を迎えてからは日本への連合軍の進駐に伴い、この施設は「水戸対地射爆撃場」として米軍が使用するようになりました。しかし、射爆撃場として使用されていた間、当時の地元住民の方々から

数十年にわたり返還運動が行われたこともあり、1973年に日本政府に返還されました。

そうして返還された「水戸対地射爆撃場」跡地を首都圏整備計画の一環として、現在の国土交通省が整備を始めました。1984年に工事が開始され、1991年に70haが完成。この年に初めて開園し、その後さまざまな試行錯誤を経て、現在の面積まで整備が進められてきました。今後も公園を整備、管理して下さる方々によって、より美しい公園に仕上げられていくはずで

公園へ足を運ぶ際は、美しい花々の咲き誇る観光地としての一面だけに限らず、整備に至るまでの歴史や人々の想いにも目を向けてみると、公園の知られざる一面を垣間見ることが出来るかもしれません。

最後になりますが、一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、大勢の方々が気兼ねなく公園へ足を運べるようになることを心より祈る次第です。



「写真提供：国営ひたち海浜公園」

## 令和3年4月1日付幹部紹介



総務部長  
森田 輝也

4月1日付で総務部長を拝命しました森田です。

今回の異動については、当時の水戸防衛施設事務所に採用されたことが私の防衛省職員としてのスタートだったこともあり、殊更感慨深いものがあります。

当局管内には重要な防衛施設が多数所在しており、その円滑な運用には地元の皆様のご理解とご協力が大変重要であると認識しております。

引き続き、皆様方のご理解が得られるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



調達部長  
菅野 俊也

4月1日付で調達部長に着任しました菅野(かんの)です。

北関東防衛局は、防衛省の政策課題に関して地域の皆様のご理解を賜り地域社会と防衛施設の調和を図る役割を担っており、近年、防衛省の役割が多様化するなかにおいて、当局の使命はますます重みを増しているものと考えています。

また、防衛施設の建設は、安全保障基盤の構築であるとともに社会資本整備としての雇用創出、地域経済の活性化を促す側面も有しております。

このような防衛施設の整備、周辺地域との調和に対し、誠実に職責を果たすべく最善を尽くす所存です。



管理部長  
渡部 貢

4月1日付の異動で管理部長に着任しました渡部です。

北関東防衛局の勤務は、2度目の6年ぶりとなります。

北関東防衛局の管内は広く、重要な防衛施設が多数所在し、防衛施設に起因する様々な課題を抱えております。これらの課題に取り組むためには、関係自治体や地域住民の方々のご理解とご協力が重要です。

これまでの職務の経験を生かしつつ、信頼される北関東防衛局を目指し、日々努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 令和3年度 北関東防衛局初任研修を実施

4月20日から22日の3日間、令和3年度北関東防衛局初任研修が19名の新人職員(令和3年度新規採用者及び令和2年度中途採用者を含む)に対し実施されました。

この初任研修は、防衛省職員としての使命と心構えの自覚、業務の遂行に必要な基礎知識を習得、北関東防衛局職員としての一体感を培うことを目的に実施しており、例年市ヶ谷及び朝霞において実施される防衛省の新人職員全員を対象とした合同初任研修の後に実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、一堂での合同初任研修が見送られたため、北関東防衛局初任研修が新人職員にとって初めての集合教育の機会となりました。

新型コロナによる影響は埼玉県に4月20日から「まん延防止等重点措置」の適用が決定されるなど、より一層の感染対策が求められる中での研修となりました。研修にあたり、研修生は研修前14日間の健康観察、3密とならない広い会議室の使用、室内換気やアルコール消毒、マスク着用の厳守など基本的な感染対策が徹底されました。

研修では、陸海空自衛隊の任務や活動、北関東防衛局が所管する東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、長野県、新潟県の1都7県の自衛隊施設や米軍基地、防衛施設等が所在する市町村や当局の各種施策について講義があり、講師となった各部担当者から防衛施設周辺で生活する住民の声に耳を傾け、その立場に立って、防衛行政を考えることが重要であるとの説明がありました。

新人職員19名は、研修後、防衛省職員としての自覚を持ち、今後それぞれの配属先で各人の技術や能力をいかんなく発揮し、防衛行政を通して、基地等防衛施設と防衛施設周辺自治体や住民の皆さんを繋ぐ架け橋となる人材へと成長することが期待されています。





# 北関東防衛局からのお知らせとお願い

## レーザー光線の航空機への照射は**犯罪**(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい。**

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。



レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

(注)平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)、航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

**平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。**

外務省、防衛省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室  
(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄)  
防衛省 地方協力局地方協力企画課在日米軍調整室

(代表)048-600-1800(内線:2213、2236、2226)

(直通)03-5362-4851

## ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設その周辺地域(周囲約300m)**の上空における**ドローン等の飛行は、原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法**上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。



<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>

防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

■お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室  
【代表】048-600-1800 (内線:2213、2236、2226)

## 在日米軍従業員募集

日本の「アメリカ」で働きませんか!  
[エルモ]が応援!あなたの就活!

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

【Twitter 開設】 アカウント名/在日米軍従業員求人情報(エルモ) 令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信いたします。ぜひ、フォローをお願いします。

【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理第二係

住所 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階

電話 042-542-7663

担当施設 横田飛行場、ニューサンノ-米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://WWW.lmo.go.jp> LMO 検索

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



求人情報

求人情報提供メールサービス\*